

令和 6 年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる
「プロジェクト型」の共同研究 研究報告書

令和 7 年 4 月 3 0 日現在

研究課題名	日本におけるスラブ・ユーラシア政治研究の軌跡：オーラル・ヒストリーの試み				
申請者 (代表者)	氏名		所属機関・職		
	大串敦		慶應義塾大学法学部・教授		
研究構成員		氏名	所属機関・職	専門分野	役割分担
	1	大串敦	慶應義塾大学法学部・教授	ロシア政治、ウクライナ政治	研究総括（申請者）
	2	仙石学	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター・教授	中東欧の政治	アドバイザー
	3	福田宏	成城大学法学部・准教授	チェコ、スロヴァキアの政治	主に東欧政治研究者への聞き取り
	4	溝口修平	法政大学法学部・教授	ロシア政治、ウクライナ政治	主に旧ソ連諸国の政治研究者への聞き取り
	5	油本真理	法政大学法学部・教授	ロシア政治	主に旧ソ連諸国の政治研究者への聞き取り
	6	久保慶一	早稲田大学政治経済学術院・教授	バルカン諸国の政治	主に東欧政治研究者への聞き取り

研究成果の概要

本研究課題は、日本におけるスラブ・ユーラシア政治研究の展開を跡付けるための基礎資料の整備を目的として、本分野で重きをなした先人に聞き取り調査をおこなうものであった。本助成によって、2024 年度中に 5 名の研究者に聞き取りを行うことができた。下記は聞き取り対象者や日、聞き取り行ったプロジェクト構成員である。

- ・宇多文雄（上智大学）1941 年生まれ（2024 年 7 月 24 日実施）大串、溝口、油本
- ・林忠行（広島大学、北海道大学、京都女子大学）1950 年生まれ（2024 年 11 月 24 日実施）仙石、福田、久保、大串
- ・上野俊彦（日本国際問題研究所、上智大学）1953 年生まれ（2025 年 1 月 6 日実施）大串、溝口、油本

・下斗米伸夫（法政大学）1948 年生まれ（2025 年 2 月 19 日実施）大串、溝口、油本

・塩川伸明（東京大学）1948 年生まれ（2025 年 3 月 5 日実施）仙石、大串、溝口、油本

方法はいたってシンプルであり、聞き取り対象者の研究にある程度目を通したうえで、生い立ちから、ソ連東欧研究に進んだ経緯、現地での経験、主要業績の展開などを聞き取った。なお、対象者の聲咳に接した研究者も適宜聞き取りに参加した。

個々の研究者への聞き取りに関して詳述する紙幅はないので、比較的共通した要因に関して述べる。まず、この世代のスラブ・ユーラシア地域研究者には、社会主義や学生運動の影響が大きいことがある。無論、これには世代や個人による差異が大きい。もっとも影響を感じさせなかつ

研究成果の概要（続き）

たのは、宇多氏である。また林氏にも影響は少ない。

次に、研究対象地域の最初の現地経験の影響は、タイミングやその時の身分の差異が大きいといえる。大学院生時に留学が可能だったものは多くはない（下斗米氏、林氏のみ）。他のものは外務省職員であったり、専門調査員であったり、大学にポストを得た後であったりする。

第三に、欧米の研究の影響であるが、今回聞き取りをした範囲では、欧米でオーソドックスだった全体主義論の影響は小さかったと考えられる。ソ連研究の中でも、多くの研究者が影響を受けたと述べたのは、Jerry Hough や T. H. Rigby、Ronald Hill、Mary McAuley、R. W. Davies らである。これは聞き取り対象者の世代の問題もあるかもしれないが、概して日本のスラヴ・ユーラシア研究では、全体主義論の影響が少なかったことと符合すると思われる。

最後に、今回聞き取りをした研究者は、多くの場合、歴史研究と現状分析の双方を行っているが、その相互関係に関しては、特に一致した見解は見られない。全く別の作業として歴史研究と現状分析を分けて考えるものもあれば、歴史研究で行われるように一次資料を丁寧に読む作業を現状分析でも踏襲することを意識的に行った研究者もいた。

すべての聞き取りにかんして、文字起こしはある程度終了している。他方で、そのスクリプトに登場する固有名詞などに注を付けて、聞き取り対象者に確認をとったうえでスラ研に図書館に収めるまでが一連の作業になるが、注を付ける作業が遅れており、これらは 2025 年度中に完成させる予定である。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

本研究プロジェクトは、基礎資料整備を目的としているので、発表論文はない。

当該研究活動をもとに採択された研究プロジェクト（応募中の研究プロジェクトを含む）

今後、どの程度プロジェクトを進めるか検討中のため、新規に採択されたプロジェクトはない。

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。